Panasonic

ASTERIA Warp導入事例

SAPと周辺システムでデータ連携する４つのユースケース

Panasonic

SAP導入における"つなぐ"アプローチ

SAP導入は、多大な投資と時間を要する大規模プロジェクトです。
データ連携基盤は、SAP導入の成功に不可欠な土台です。
これにより、システムの統合性と信頼性を高め、ビジネスの俊敏性と競争力を向上させることが可能となります。
こうした「つなぐ」アプローチを実践した4社の事例を紹介します。

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

目次

1. SAP連携におけるデータ連携基盤の必要性とは
2. SAP機能の補完としての活用事例
3. SAPバージョンアップでの活用事例
4. SAPを中心とした連携基盤の構築事例
5. SAPリプレイス時における活用事例

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

1. SAP導入におけるデータ連携基盤の必要性とは

SAP導入において、データ連携基盤を別で構築することにより以下を実現することが可能です。

システム間の円滑なデータ連携の実現

- SAPと他システム(CRM、PLM、BI)間のバッチ・リアルタイムを可能にし情報の一貫性を確保。

柔軟なシステム拡張と将来性

-変化するビジネス要件に応じて容易に連携範囲や内容を拡張可能。クラウドサービスとの連携もスムーズに。

データ品質と信頼性の向上

-一元化された連携基盤により、データの整合性と正確性を維持。データの重複や不整合を防止。

業務効率化の実現

-標準I/F利用による共通化で個別処理を最小化し、開発効率を高めることが可能

運用性/保守性の向上

-連携処理の標準化、一元管理、再利用性を高めることに長期的な保守・運用の効率化と安定性を実現。

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

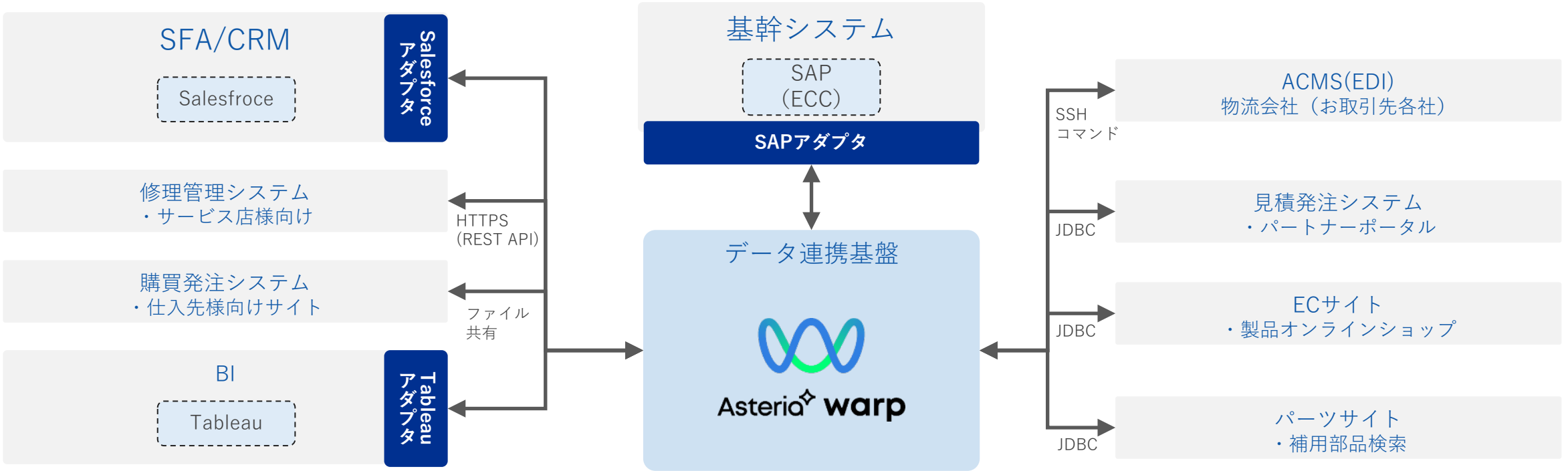
Panasonic

SAPと周辺システムでデータ連携するユースケース

2. SAP機能の補完としての活用事例

SAPを継続利用し、不足部分を周辺システムで補って連携した例です。ASTERIA WarpでSalesforceやEDIとつなぎ、
刷新コストと時間を大幅に削減。ペーパーレス化と**業務スピード向上**を実現し、中堅企業に有効な最適化手段となりました。

業種	製造業（中堅）
連携システム	SAP、Salesforce、Tableau、ACMS(EDI)、個別システム
課題	ERP切替を検討したがマッチする仕組みがなかった SAP継続を検討するにあたり周辺システムとの連携が不可欠だった



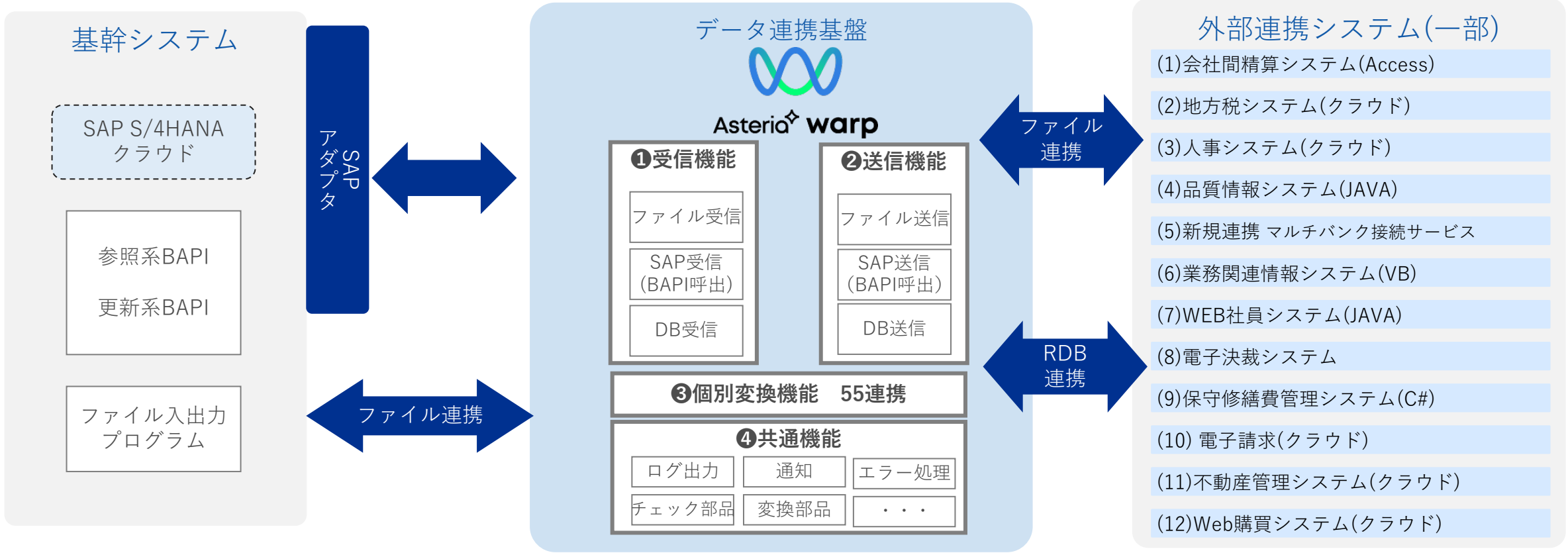
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

3. SAPバージョンアップでの活用事例

SAPのバージョンアップにあたり、SAP側のカスタマイズやアドオン開発を減らし、周辺システムとのデータ連携で業務改革した事例です。
データ連携基盤の活用により、課題に対するアプローチ、特にアドオン工数の削減により**イニシャル・メンテナンス時のコスト削減**を実現しました。

業種	鉄道・運輸業　大手
連携システム	SAP S/4HANA、人事システム、多数
課題	ERPパッケージの利用に伴うアドオン工数の増大 マルチベンダー化に伴い、ベンダー間のコミュニケーションが複雑化

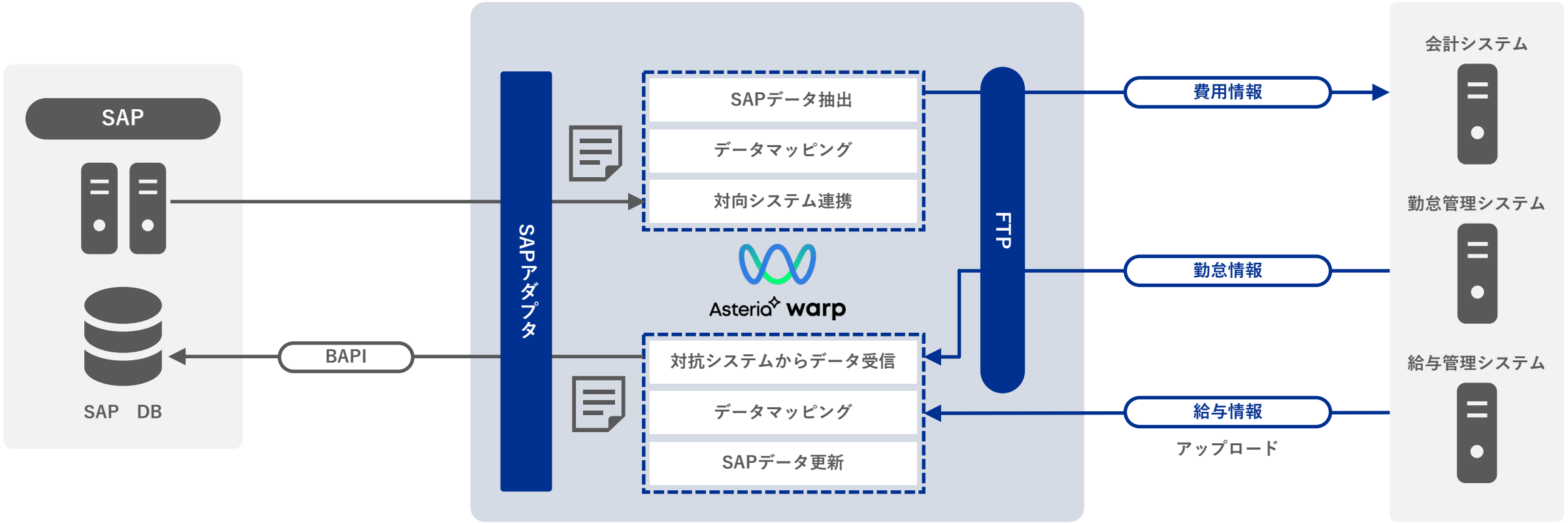


Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

4. SAPを中心とした連携基盤の構築事例

SAP人事システムの導入時に周辺とのシステム連携の効率化を実現した事例となります。100システムとの連携を設計・開発・テスト含めて**6ヶ月間で実現**。処理の見える化が出来、**運用コストの削減**にもつながりました。

業種	製造業　大手
連携システム	SAP、会計、勤怠管理、給与管理 等(約100システム)
課題	SAPリプレイスにあたり周辺システムが複数あり開発の効率化が必要だった

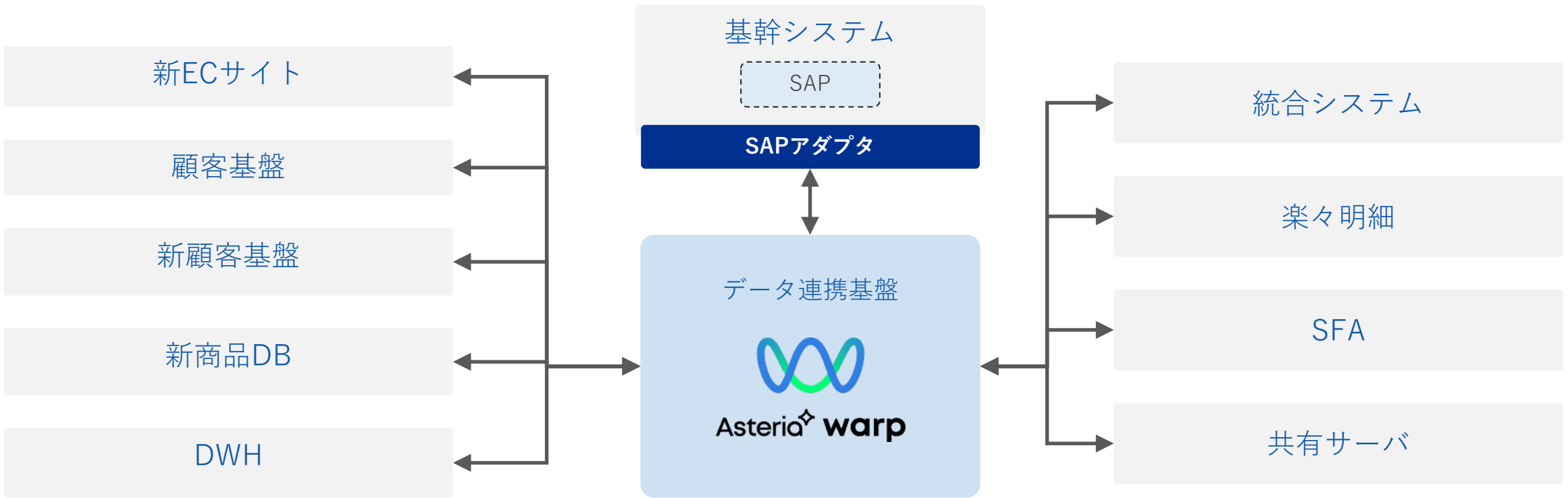


Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

5. SAPリプレイス時における活用事例

SAPリプレイス時にデータ連携基盤を上手く活用した事例となります。新ECサイト、顧客基盤、統合商品DB構築など、当初想定から要件が膨らみ、本番稼働のタイミングは合いませんでしたが、データ連携側で上手く制御・管理することで、**段階的な本番移行を実現**致しました。

業種	建設業（中堅）
連携システム	SAP、DWH、SFA、楽々明細
課題	基幹システムリプレイスにあたり、並行稼働が必要



Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

パナソニック デジタル株式会社はASTERIA Warpのマスターパートナー

サービスをつなぐASTERIA Warp＋パナソニック デジタル株式会社の独自のEAIサービスによりお客様のデータ連携を支援致します

①独自テンプレート/標準ドキュメント
により開発期間の短縮

②豊富な支援メニューにより
お客様の内製化も合わせて支援

③実績・ノウハウがあるSEにて
導入・開発・運用各フェーズでアドバイス

ASTERIA Warp Partner Award

弊社はASTERIA Warpマスターパートナーの内
ASTERIA Warp 販売実績 **No.1**

◆Partner of the Year 受賞（2015・2016・2019・2023・2026）
◆Excellent Partner 受賞（2013・2020・2021・2024・2025）
◆Project Award 受賞（2020・2021・2025）

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

※「ASTERIA Warp」はアステリア株式会社の製品です

会社概要

会社名	パナソニック デジタル株式会社
本社所在地	■大阪 〒530-0053　大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC　OSAKA TEL：06-6906-2801（代表） ■東京 〒104-0061　東京都中央区銀座8丁目21番1号 TEL： 03-5148-5634（代表）
代表取締役 社長執行役員	阿部 裕
設立年月日	1999年2月22日
事業内容	情報サービス
資本金	1,040百万円
関連会社	松下信息系統（上海）有限公司

お問い合わせはこちら

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic